

## (仮称) 岐阜市未来ビジョン 第1回有識者会議 次第

日時 平成29年8月9日(水) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～ひとづくりはどうあるべきか」

### 1 開会

### 2 浅井副市長あいさつ

### 3 有識者発言・意見交換

#### 【教育・子育て】

○竹内 薫氏 (サイエンス作家)

「AI時代の教育について」

○大日向 雅美氏 (恵泉女学園大学 学長)

「新たな地域創りに向けた社会実験の一例 ～ニーズは“掴む”ものから“創る”ものへ～」

#### 【医療・高齢者】

○宮下 公美子氏 (介護福祉ライター)

「住民が輝く地域づくり」

○辻 哲夫氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)

「未来を担う人づくり –地域包括ケアの視点から」

#### 【文化・芸術】

○泉 麻人氏 (コラムニスト)

「散歩エッセーの書き手の視線で眺めた地方都市」

### 4 今岡副市長あいさつ

### 5 閉会

#### 《配付資料一覧》

- ・次第
- ・有識者名簿
- ・有識者プロフィール等一覧
- ・席次表
- ・有識者発言配付資料  
(事前配付資料)
- ・第1回有識者会議(ひとづくり8月9日)の概要
- ・時代に対する基本的認識(共通資料)
- ・未来の行政課題及びポイント①(子育て・教育分野)
- ・未来の行政課題及びポイント②(医療・高齢者分野)
- ・未来の行政課題及びポイント③(文化・芸術分野)
- ・第1回有識者会議(8月9日)資料に関連する基礎データ集

(仮称)岐阜市未来ビジョン 第1回有識者会議

日時 平成29年8月9日(水) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～ひとづくりはどうあるべきか」

## 有識者名簿

(順不同・敬称略)

氏名	役職等
竹内 薫	サイエンス作家
大日向 雅美	恵泉女学園大学 学長
宮下 公美子	介護福祉ライター
辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
泉 麻人	コラムニスト

### <進行役>

紙田 和代	ランドブレイン株式会社 執行役員 (仮称)岐阜市未来ビジョン策定支援業務受託業者)
-------	--

### <岐阜市側出席者>

浅井副市長、今岡副市長

事務局（企画部長、企画部次長、総合政策課管理監、総合政策課職員）

関係課長（商工観光政策課、福祉政策課、子ども政策課、健康政策課、

病院政策課、市民参画政策課、庶務会計課（岐阜市立岐阜薬科大学）、

総務管理課（岐阜市立岐阜女子短大）、教育政策課）

## (仮称) 岐阜市未来ビジョン 第1回有識者会議

日時 平成29年8月9日(水) 15:00～

場所 岐阜市役所本庁舎低層部4階 全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～ひとづくりはどうあるべきか」

## 有識者 プロフィール等一覧

※発言順に記載

※発言テーマは、当日変更する場合がありますので、  
あらかじめ御容赦願います。

### 【竹内 薫 (たけうち かおる) 氏】 サイエンス作家

〔発言テーマ〕 AI時代の教育について



<プロフィール>

1960年東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(専攻、科学史・科学哲学)・東京大学理学部物理学科卒業。1992年マギル大学大学院博士課程修了(専攻、高エネルギー物理学理論)。理学博士(Ph.D.)大学院を修了後、サイエンスライターとして活動。2003年千葉大学非常勤講師。2010年JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)「経営に関する懇談会」委員。2011年 梓会出版文化賞選考委員。『99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方』(光文社新書、2006年)をはじめ、物理学の解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物を発刊。幅広い科学ジャンルの発信や執筆、テレビ、ラジオ、講演など出演多数。

### 【大日向 雅美 (おおひなた まさみ) 氏】 恵泉女学園大学 学長

〔発言テーマ〕 新たな地域創りに向けた社会実験の一例 ～ニーズは“掘む”ものから“創る”ものへ～



<プロフィール>

神奈川生まれ。お茶の水女子大学卒業、同大学院修士課程修了、東京都立大学大学院博士課程満期退学。1985年学術博士。  
2016年から現職。厚生労働省社会保障審議会委員・同児童部会会長、内閣府子ども・子育て会議委員、NHK中央番組審議会委員長、住友生命保険相互会社社外取締役なども務める。『おひさまのようなママでいて』(幻冬舎)、『増補 母性愛神話の罫』(日本評論社)ほか著書多数。子育てをテーマとしたテレビ・ラジオ番組への出演多数。  
平成28年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰。

## 【宮下 公美子（みやした くみこ）氏】 介護福祉ライター

〔発言テーマ〕 住民が輝く地域づくり



### <プロフィール>

東京生まれ。早稲田大学卒業。(株)リクルートを退職後、フリーライターに。介護保険制度開始当初から介護分野での執筆を開始。その後、社会福祉士、臨床心理士の資格を取得。ライター業務と並行して、自治体の介護保険認定調査員、公法人の介護サービス苦情相談員、特別養護老人ホーム心理相談員としても勤務。現在は、社会福祉士として要介護女性の成年後見人を務め、臨床心理士として神経内科クリニックに勤務中。著書は『多職種連携から統合へ向かう地域包括ケア：地域づくりのトップランナー10の実践』（メディカ出版、2017年）など。

## 【辻 哲夫（つじ てつお）氏】 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

〔発言テーマ〕 未来を担う人づくり - 地域包括ケアの視点から



### <プロフィール>

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官（医療保険、健康政策担当）、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、2008年4月から田園調布学園大学 教授、2009年4月から東京大学高齢社会総合研究機構 教授を務める。現在、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。編著書として、「日本の医療制度改革がめざすもの」（時事通信社）「超高齢社会 第2弾 日本の挑戦」（時評社）「地域包括ケアのすすめ 在宅医療推進のための多職種連携の試み」（東京大学出版会）「超高齢社会 第3弾 日本のシナリオ」（時評社）「超高齢社会 第4弾 未知の社会への挑戦」（時評社）等がある。

## 【泉 麻人（いずみ あさと）氏】 コラムニスト

〔発言テーマ〕 散歩エッセーの書き手の視線で眺めた地方都市



### <プロフィール>

1956年東京生まれ。79年慶應義塾大学商学部卒業。東京ニュース通信社入社、週刊TVガイド編集部などに勤務。84年に独立、『週刊文春』などの雑誌や新聞に流行、風俗現象、東京の街などをテーマにコラムを連載。主な著書は『東京23区物語』（新潮文庫、2001年）、『東京考現学図鑑』（学研パブリッシング、2011年）、『箱根駅伝を歩く』（平凡社、2012年）、『大東京23区散歩』（講談社、2014年）、『還暦シェアハウス』（中央公論新社、2015年）、『東京いい道、しぶい道』（中公新書ラクレ、2017年）など多数。趣味は古地図収集、バス旅、昆虫採集など。